

2022年9月10日(土)

初秋の小瀬田は、黄金色の稲穂が頭を垂れ、収穫の日を今か今かと待ちわびて、夏の間、水田を泳ぎ、除草や駆虫をしていた合鴨たちは役目を終えて、合鴨小屋へ。

相変わらずの集団行動をして、1匹が動けば、それに続き動き出すを、行ったり来たりと繰り返していました。



こおろぎ、バッタ、イナゴがびよんびよん跳ぶなど、今回の小瀬田は虫パラダイス。その中でも印象に残った虫たちを何匹か紹介します。



1. はばち

芋虫発見！つぶらな腫、綺麗な色に魅了。

大きくなったら、ちょうちょではなく、蜂になるはばちくん。

魅了された小学生の女の子は、みつけたはばちの幼虫に全て名前をつけていました。

まっちゃん、こうちゃん、ラブちゃん、おこめちゃん、こっきーくん

『かわいいなー。でも、はちになるなら家では飼えないや。』と、別れを告げていました。



2. ふくらすずめ

葉っぱにくっついた、おれんじ色の少し派手目な蛾の幼虫。

棒などで幼虫のいる葉や枝に少し刺激を入れると、頭をゆらゆら。強めに刺激を入れると、まるでここはライブ会場？というくらい激しくヘッドロック！

ヘッドロックいもむしとあだ名がつきました。

目が慣れてくると、あたりはヘッドロックいもむしだらけ。

野外フェスで有名なフジロック！じゃなかった、コセダロック！

激しく頭を振る姿を、動画でお伝え出来ないのがもどかしい！！



今月は、落ちるのが早過ぎたイガのやわらかい山栗を見つけました。

『来月は美味しく実った山栗が拾えるといいな。』『紅葉はどんなかなー』などと、秋の小瀬田を楽しみにしている声がたくさん聞かれました。